広報 かるまい 4

平成28年（2016年） No.685

今月の主な内容

■町長・教育委員長施政方針 ……2～7
■農業委員会だより ……8～9
■平成28年度職員配置 ……10～11

-町長施政方針-

町議会３月定例会が３月３日に開かれ、施政方針演述で山本賢一（けんいち）町長は「豊かで安心して生活できる魅力ある地域社会の創造に向け、身近な社会資本の整備、地域福祉の向上と学校教育環境の充実などを基本としたまちづくりを推進する」と決意を述べました。本年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

豊かな暮らしを支えるまちづくり

【公共交通対策】

町民バス・コミュニティバスについては、今後も利用される皆さんの要望などを踏まえつつ、利用しやすくよりよい交通手段となるよう取り組んでいきます。

【防災対策】

平成27年度に防災計画の改正を行ったほか、土砂崩壊などの危険箇所や避難場所などの防災マップを作成しました。今後は、災害時の自助、共助の取り組みの充実を進めます。

また、屋外防災行政無線のデジタル化を計画的に進め、関係機関と連携しながら災害に関する情報提供などに必要な体制を確立していきます。

【消費者行政推進事業】

近年の悪質な契約や商法は世代の広い範囲で発生しており、研修会などの参加による職員の窓口対応のスキルアップとともに、構成市町村が連携して二戸消費生活センターの存続と支援を継続し、皆さんが安心して暮らせるよう努めます。

【町道整備・橋梁維持】

町道軽米高家線道路改良舗装事業は、平成28年度で事業完了予定です。このほか、町道焼切万谷線、赤石峠小玉川線、みそころばし竹谷袋線、参勤街道線も早期完成に向けて事業を進めます。

また、通学路の安全対策として町道下小路保育所線の歩道整備に着手する予定です。橋梁修繕と点検業務についても継続し、町民の皆さんの利便性の向上と交通安全を確保します。

【住環境・上下水道】

公共下水道事業については、向川原地区の管路敷設工事を進めるほか、供用開始区域における下水道の普及促進に努め、公共用水域などの自然環境の保全と生活環境の改善を目指します。

水道事業は、観音林地区簡易水道及び山内地区簡易水道の施設更新計画を、平成27年度から2ヶ年継続事業として進めており、今後も一上水道事業と二簡易水道事業により、「安全な水の安定供給と健全な経営」を目標として運営していきます。

結いの精神のまちづくり

【行政区活動交付金等】

地域の自主的・主体的活動を支援することを目的とした「行政区活動交付金」と「地域活動支援事業費補助金」については、各行政区、町内会がより利用しやすい制度となるよう見直し、多様化する地域課題を解決し、快適で住みよい地域づくりを地域と行政が同じ視点で推進します。

【ユイコのケアドー事業】

今後とも取り組みをする行政区や地域団体の活動を支援します。

高齢者もいきいき暮らすまちづくり

【国民健康保険】

平成30年度からの国保の都道府県化を控え、県移行がスムーズに行われるよう、国保会計の運営をこれまで以上に慎重に進め、被保険者への保健指導と適切な医療費抑制に努め、現行の保険税率を維持しながらの運営に努めます。

【後期高齢者医療】

平成28年度は保険料率の改定時期ですが、被保険者の増加に伴う医療給付費の増加傾向が続く中、剰余金と財政安定化基金を活用し、保険料を据え置きます。

【障がい者福祉】

4月から施行される障害者差別解消法の周知と、自治体としての対応要領の策定に取り組んできました。

平成25年度から32年度を計画期間とする、軽米町障害者福祉計画に基づき、障がい福祉サービスや、相談支援体制の強化に努めます。

【高齢者福祉】

第6期介護保険計画については、制度改正に対応する体制整備を進めています。

要介護状態や認知症になっても住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けられるよう、関係機関と横断的な連携強化を行っていきます。

【介護予防活動】

65歳以上の全町民を対象に『介護予防のための基本チェックリスト』と『自分でできる認知症の気づきチェックリスト』により、二次予防者を把握し、介護予防計画を進めています。

好評を得ている『ふれあい共食事業』は平成27年度は15地区で開催し、今後も地域住民が主体となった介護予防活動の推進を広めていきます。

【保健事業】

特定健診・特定保健指導により生活習慣病の予防を推進することで医療費の適正化を図るとともに、町独自に行っている『50歳入院人間ドック』の入院、外来選択性など工夫をしながら進めていきます。

【こころの健康づくり】

「精神障がい者社会復帰教室（すみれ会）」やその家族を支える「家族会」の支援に取り組んでいるほか、65歳以上を対象にした「基本チェックリスト」を実施し、うつスクリーニングやゲートキーパー養成講座を開催します。

敬老会での健康体操

子育て支援日本一のまちづくり

【地域子育て支援事業】

子育て世代は、社会を支える要であり、今後増え続ける高齢人口を支える世代でもあります。将来に夢を持ち、子どもたちが健やかに成長できるよう、子育て支援の取り組みを推進します。

【子育て支援】

育児不安についての相談などを行う「ピヨピヨ広場」を引き続き青少年ホームに設置するほか、「軽米児童クラブ」を小軽米、晴山小学校の児童も利用できるよう、送迎事業を継続します。

平成22年度から実施している常設保育園での2人目以降の保育料原則無料化についても継続します。

【子育て支援（医療費助成）】

8月から、岩手県医療費助成事業のうち、未就学児と妊産婦について、医療機関での窓口負担を一定負担額のみとする「現物給付方式」を採用します。この一定負担額を町がさらに負担し、町民の窓口負担をゼロにするなど、子育て支援の拡充を図ります。

【保育園等】

平成27年から実施している野外保育、要支援児へのきめ細やかな対応などの特色ある保育に継続して取り組み、保育の質の向上を推進します。

【学校関係】

平成28年度も町単独で、学力向上支援員と特別支援員を各小中学校に配置し、個に応じたきめ細かな指導の充実を進めます。

夏・冬休みを利用して、中学生を対象とした外部講師による学習会の開催や、これまでに導入したＩＣＴ機器の有効活用により、児童生徒の学力向上を推進します。

軽米高校への支援では、平成28年度から新たにキャリア教育推進事業に支援することにより、生徒確保に向けた軽米高校の充実を図ります。

【生涯学習】

住民の手による「生涯学習フェスティバル」「かるまい朗読会」など町民による主体的な学習活動を支援し、心の豊かさにつながる多様な学習機会を提供し、文化の薫る軽米町を作っていきます。

【希望郷いわて国体】

10月に本番を控え、軟式野球競技の円滑な運営と内外からの来場者のおもてなし、国体開催に向けた機運を高める事業を推進します。

軽米町民生涯学習フェスティバル

豊かな自然と美しい景観のまちづくり

【環境衛生】

町民総参加で町内全域にわたり、道路河川などの清掃を行うクリーンアップデー事業を継続実施します。

また、可燃ごみの総重量の約30％を占める生ごみの処理を促進するため、家庭用生ごみ処理機及びコンポストの購入補助事業のほか、古着などの回収事業を継続します。

民間事業者による最終処分場建設計画については、町として引き続き事業者の動向を注視しながら、八戸圏域水道企業団、洋野町と連携しながら建設の阻止、反対の立場を訴えていきます。

【花いっぱい運動】

本年は希望郷いわて国体軟式野球競技が当町でも開催されることから、全国から訪れる選手や、観客の皆さんをあたたかい「おもてなしの心」で迎えられるように、これまで以上に参加を呼びかけ、花いっぱい運動の推進に努めます。

資源を活かした地域産業のまちづくり

【ＴＰＰ】

現時点では具体的な影響が計り知れない部分があり、国会での審議状況の動向を注視し、協定の批准を行わないよう、皆さんとともに求めていきたいと考えています。

また、ＴＰＰ関連施策については、内容などを注視しながら関係機関と連携し、対策などを検討していきます。

【水稲】

平成28年産米の生産数量目標は、面積に換算して４４９ヘクタールとなり、27年産と比較して22ヘクタール増加しています。

平成27年度の飼料用米の作付面積は、26年度と比較して76ヘクタール増加の２５５ヘクタールでした。今後も関係機関と連携し、収量向上などの指導を徹底していきます。

【園芸振興】

新技術や新品種の導入による生産性の向上を推進するとともに、たばこの立ち枯れ病予防対策を継続実施します。

多くの需要が見込まれるエゴマなどの雑穀については、多様化する消費者ニーズを把握し、売れる商品づくりと、流通販売体制を推進するほか、地産地消に取り組み、産地力の強化を図ります。

【畜産振興】

和牛の繁殖経営では、ＴＰＰ調印などの大きな影響が懸念されることから、経営体質の強化を図るため、飼養管理における低コスト化や、担い手農家の規模拡大を推進するための施策に取り組みます。

中小家畜の振興については、国や県の価格保証制度に町としても引き続き助成し、中小家畜の維持と安定的発展を図ります。

【日本型直接支払制度】

引き続き農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や、営農活動に対して支援を行っていきます。

【農地活用・担い手育成】

機構集積協力金交付事業では、経営転換協力金１人、耕作者集積協力金６人の支援を行っています。今後も農地の借入、貸付に関する機構集積協力金交付事業を活用し、担い手への農地の集積と集約化を推進するとともに、現在２組の夫婦を含め７人が給付を受けている新規就農・経営継承総合支援事業について、さらに周知を図ります。

【農業基盤整備】

県営事業の中山間地域総合整備事業などにより、農道２路線の整備を行います。

また、山内地区の農業構造改善センターは、平成28年度中に整備する予定です。

【林業関係】

引き続き町有林大平事業区の下刈作業と間伐作業を実施します。

また、木炭・しいたけ生産者や森林組合と連携し、広葉樹里山森林資源活用再生事業を推進しながら、特用林産物の生産振興を図ります。

【商工業振興】

軽米町商工会や軽米中央商店会の各種事業に対して助成を継続するとともに、中小企業の支援を進めます。

また、商工業者の運転・設備資金などの資金確保の円滑化と利子負担の軽減を図るために、引き続き町の制度融資の斡旋による利子補給事業を実施します。

【中心商店街の活性化対策】

今後もプレミアム付き町内共通商品券を発行するなど町内商店などの利用促進に努めるとともに、中心市街地に公共交通の窓口、町民の生涯学習とふれあいの拠点として仮称“かるまい交流駅”の基本構想の策定を進め、元気あふれる中心商店街の創出に向けた取り組みを進めます。

【地場産業の振興】

「かるまいブランド」は現在、24品目が認証されており、「食の町かるまい」を県内外に発信するとともに、地場産品の特産品化と、販路拡大事業を支援します。

また、「かるまいシリアルライフ」開発推進委員会を開催し、町の特産品である雑穀の「軽米産シリアル」としてのブランド化、商品化に向けての調査研究などに必要な支援をします。

「かるまいブランド」発表会

多様な交流が生まれるまちづくり

【観光】

町観光協会が中心となって実施する軽米秋まつりは、９月17日から19日までの３日間の日程で計画しています。

森と水とチューリップフェスティバルを開催している雪谷川ダムフォリストパーク・軽米は、施設開園27年目を迎えます。５月の大型連休中の開花に向け、早咲きから遅咲きの珍しい球根の更新を図るとともに、５月８日には、ハートフル・スポーツランドの芝桜と、フォリストパークのチューリップを生かしたウオーキング大会を開催し、「花のまち軽米」を積極的にＰＲしながら誘客を促進します。

岩手県北市町村に共通の課題となっている冬期間の誘客については「冬の厳しいかるまい」を逆手にとり、冬の賑わいの創出と、町中心部の活性化を図ることを目的に新たなイベントを平成28年度から開催します。

フォリストパーク・軽米のチューリップ園

当初予算

豊かで安心、魅力ある地域の創造に向け

平成28年度の地方財政計画は、ほぼ前年並みの予算が確保されましたが、当町では、先に実施された国勢調査人口が大幅に減少したことなどから、地方交付税額の削減が予想され、厳しい財政状況になると見込んでいます。

このような財政状況を踏まえ、歳入では、町税収入の確保や適正な受益者負担をお願いしながら自主財源の確保に努め、歳出では、費用対効果の検証による事務事業の見直しなど、歳入に見合う歳出の抑制を基本とした健全財政の取り組みを強化しながら、豊かで安心して生活できる魅力ある地域社会の創出に向けた、身近な社会資本の整備、地域福祉の向上と学校教育環境の充実などを基本に予算編成に取り組みました。

本年度の当初予算は61億４０００万円

平成28年度一般会計当初予算総額は、前年度予算と比較して１・９％減の61億４０００万円としました。

歳入の確保と歳出の抑制を基本に編成しましたが、６億３０００万円余りの財源不足となりました。

この財源不足額については、財政調整基金により調整しましたが、今後の財政運営に当たっては、一層効率的な予算の執行に努めるとともに、財政の厳しい状況を直視し、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めます。

教育委員長施政方針

戸草内教育委員長

3月3日の町議会定例会の教育行政方針演述で戸草内勝夫（かつお）教育委員長は「軽米の将来を担う子供たちの成長と生涯学習の町のさらなる発展を期するため、軽米町教育振興基本計画に基づき、教育行政のなお一層の推進に努めて参りたい」と決意を述べました。本年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

施政方針を述べる
戸草内教育委員長

◆学校教育の充実について

【幼児教育の充実】

小学校へ続く集団生活への適応力を身につけるよう、創意と工夫に満ちた教育活動を展開するとともに、預かり保育や給食の実施など、子育て支援の充実を図ります。

【学力向上】

少人数指導、授業における到達目標の設定や評価など「わかる授業づくり」に向けた教員研修を進めるとともに、「ノーメディアの日」を取り入れ、家庭学習の定着化に努めます。

また、中学生、高校生への実用英語技能検定と日本漢字能力検定の受験量の助成を継続して実施します。

中学生を対象としたウィンター学習会

【特別支援教育の充実】

就学指導委員会の開催など関係機関との連携を図りながら、児童生徒の様々な障がいの早期発見と、きめ細かな指導・支援を行い、特別支援教育コーディネーターの配置などによる支援体制の充実を図ります。

【道徳教育の充実】

規範意識や道徳性の低下が問題となっていることから、「道徳の時間」を充実させ、心の成長につなげる指導を推進します。

【健康教育の充実】

規則正しい生活習慣による感染症予防や肥満予防など健康に暮らす知識と判断力を育てます。

学校給食では、「軽米産食材」を活用した食育の推進と併せて、給食費に対する助成を継続して子育て支援を図ります。

【環境教育の充実】

太陽光発電など再生可能エネルギーの活用に関する学習や各種リサイクル運動など、家庭や地域を巻き込んだ学習活動に取り組みます。

【キャリア教育の推進】

町内事業所の協力をいただきながら、働くことの喜びや厳しさを感じ、自分の住む社会や将来を考える機会となるよう職場体験を実施します。

【国際理解教育の推進】

小・中学校への英語指導助手の継続配置、小中高合同の英語発表会の開催など、コミュニケーション能力の向上と国際理解を深めます。

また、平成28年度から新たに、小学校3、4年生も外国語活動に取り組みます。

【情報教育の推進】

実務的な研修により、教員のＩＣＴ機器の活用力を高めることで、児童生徒の学習意欲と習熟度を高めます。

また子どもたちがネット犯罪等に巻き込まれないよう、情報モラルに関する指導を強化します。

【適応指導の充実】

関係機関と連携しながらスクールカウンセラーなどを有効活用し、教育相談体制を確立します。いじめ防止に向けた日常指導を強化し、すべての学校が「いじめ防止基本方針」を策定して、組織的に対応できる態勢づくりと職員の意思統一を図ります。

【教員研修の充実】

授業改善研修会や教務主任研修、ＩＣＴ活用授業研究会などの実践的な教員研修により、指導力や資質の向上を図ります。

【地域に開かれた学校づくりの推進】

学校評議員など外部評価による教育活動の改善を図るほか、町内一斉学校公開日を実施し、保護者や地域との連携・協働に努めます。

【中高一貫教育】

軽米中学校、軽米高校の6年間を通じた系統的、継続的指導により、学力の向上を図るとともに、中高一貫教育支援者拡大会議などを開催し、軽米高校のより一層の充実に努めます。

◆生涯学習のまちづくり

【生涯学習の推進】

生涯学習カレンダーによる情報提供やニーズに対応した学習メニューの提供など、町民による主体的な活動を支援します。生涯学習推進本部を中心として、住民誰もがいつでも、どこでも主体的に学習できる環境を整え、学習の成果を適切に生かす社会の実現に努めます。

◆社会教育の推進

【家庭教育支援】

子どもを持つ親を対象に、発達段階に応じた子育て、しつけ、食育などに関する家庭教育学級を開設し、子育て支援に努めます。

【放課後子ども教室】

放課後における子どもの活動拠点を設け、地域の方々の協力をいただきながら、安全安心な居場所づくりに取り組みます。

図書館ボランティアが児童と行う図書の修繕

【学校図書館支援】

小・中・高等学校の学校図書館の運営を支援し、学校図書の活用促進と充実を図ります。

【青少年の学習支援】

音更町相互訪問研修や青少年リーダー研修など体験的な活動の充実を図りながら、将来地域を担う青少年が人間性豊かに成長するよう取り組みます。

◆公民館、図書館運営

【中央公民館運営】

町民の学習拠点施設として、各種講座の開催やサークル活動などに利用しやすい施設運営に努めます。

【笹渡・小軽米・晴山分館】

地域住民の方々の活用についてご意見をいただきながら、よりよい活用方法を検討します。

【図書館運営】

蔵書の充実や、読書に親しむきっかけとなる催しなど、サービス向上に努めます。

【生涯学習拠点施設の整備】

町の各種計画との整合性を図りながら、整備について検討します。

チャレンジデーのラジオ体操

◆生涯スポーツの振興

【町民の健康づくりの推進】

スポーツ施設、設備の充実を図りながら、誰もがスポーツに親しみ、体力の向上を目指すことができるよう、各種スポーツ活動への参加機会の拡大に努めます。

【希望郷いわて国体】

10月2日からの軟式野球競技の開催に向け、実行委員会が中心となって県全体のイベントに参加しながら、国体への機運を盛り上げ、内外からの来場者へのおもてなしと軟式野球競技の滞りない運営を図ります。

◆個性ある文化の創造

【芸術文化の振興】

個性豊かな地域文化を創造するため、町民による文化的な活動を支援し、町民文化祭や生涯学習フェスティバルの開催など活動成果の発表機会、芸術文化を観賞する機会を作りながら、町民の創作活動を奨励支援します。

【文化遺産の保存と伝承】

町内に多く存在する貴重な文化財を計画的に調査・発掘し、記録保存するとともに、地域に伝わる芸能や郷土資料の伝承活動を支援します。

◆教育振興運動の推進

教育水準の向上を目指す県独自の教育運動として、地域ぐるみの教育活動が学区単位で展開されてきました。

少子化や学校統合などにより、運動のあり方も転換期にありますが、各実践区において、「子どもは地域全体で育む」という機運を高め、地域づくりを基盤に据えた大人自らの住民運動として推進します。

農業委員会法改正後初の
農業委員・農地利用最適化推進委員が決定

改正された農業委員会に関する法律の施行に伴い、新たな農業委員となった12人に対し4月1日辞令交付式が行われました。同日開催された第1回総会で、会長に西舘徳松さん、会長職務代理者に中里照夫さんが就任しました。4月6日には、新たに新設された農地利用最適化推進委員への委嘱状交付式が行われ、西舘会長から委嘱状を受け取った6人と合わせて総勢18人での新たな農業委員会がスタートしました。

会長就任のあいさつ

町農業委員会会長
西舘 徳松（とくまつ）さん

平成16年から農業委員を努め19年から会長職務代理者を歴任

このたびの農業委員会法の改正に伴い、新たな農業委員会制度のもと開催された第一回総会において、委員各位の推挙により会長職に就任することとなりました。

町をはじめ関係機関のご指導・ご支援をいただきながら、農業委員、農地利用最適化推進委員一丸となって農業委員会活動に取り組んで参ります。

さて、今日の農業を取り巻く環境は、米価の大幅下落をはじめ、農業従事者の高齢化や担い手不足による遊休農地の増加のほか、TPP協定の動向が心配されるなど、農業の将来に大きな不安と戸惑いの声が広がっております。国では、新たな農業委員会法のもと、「農地利用の最適化の推進」を強化し、担い手への農地集積、遊休農地の発生防止・解消、農業の新規参入への促進へ積極的に推進していく方針であります。

当委員会としても、新たな制度を見極めながら、軽米町の農業発展のため関係機関との連携のほか、他分野との連携も模索し、飼料米の取組み、黒毛和種、ブロイラーをはじめとする畜産振興、園芸作物の推進など、所得向上へ取組みを推進して参ります。

厳しい農業情勢ではありますが、農家の皆さんの切実な声を行政に反映できるよう要望活動についても引き続き展開して参ります。

今後とも町農業委員会活動に対するご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

老後の安心のために
農業者年金に加入しませんか？

・誰でも加入できますか？

国民年金の第一号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方ならどなたでも加入できます。農地の所有や性別は問いません。

・保険料はいくら？

保険料の額は月額２万円から６万７千円までの間で、千円単位で自分で決められ、いつでも見直すことができます。

・脱退したらどうなる？

脱退一時金は支給されませんが、加入期間にかかわらず、支払った保険料は将来、年金として受け取れます。また、脱退後の再加入もできます。

・年金は生涯支給されますか？

年金は生存中必ず決まった額が支払われる終身年金です。仮に受給者が80歳前に亡くなった場合でも80歳までに受け取るはずであった農業者老齢年金相当額が死亡一時金として遺族に支給されます。

・農業者年金のメリットは？

支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税効果につながります。また、認定農業者で青色申告をしているなど、農業の担い手となる方は国庫から月額最高１万円の保険料補助を受けられる場合があります。

ー新しい農業委員・農地利用最適化推進委員のご紹介ー

（敬称略、会長及び会長職務代理者、委員長を除き委員番号順）

農業委員

古里　典子（のりこ）
（下晴山、70歳）
TEL47-2105

会長職務代理者
中里　照夫（てるお）
（軽米駒木、56歳）
TEL46-3194

会長
西舘　徳松
（蛇口、62歳）
TEL45-2743

福田　光雄（みつお）
（上野場、68歳）
TEL47-2305

下谷地　敦雄（あつお）
（下谷地渡、55歳）
TEL47-1637

内澤　初蔵（はつぞう）
（向高家、66歳）
TEL46-2420

畑林　悦男（えつお）
（屋敷、50歳）
TEL45-3728

苅谷　雅行（まさゆき）
（苅敷山、61歳）
TEL47-1150

山田　一夫（かずお）
（仲軽米、54歳）
TEL46-3580

泉山　和彦（かずひこ）
（下円子下組、57歳）
TEL45-2020

本田　健耕（けんこう）
（本町、68歳）
TEL46-3430

鶴飼　栄一（えいいち）
（鶴飼、64歳）
TEL45-3150

農地利用最適化推進委員

木村　正司（まさし）
（荒町、57歳）
TEL46-3176
担当地区：軽米

古舘　久（ひさし）
（高清水、65歳）
TEL47-2966
担当地区：晴山

委員長
寺澤　正幸（まさゆき）
（向高家、62歳）
TEL46-3730
担当地区：軽米

清藤　秀則（ひでのり）
（河北、56歳）
TEL45-2030
担当地区：小軽米

笹山　結実男（ゆみお）
（新井田、54歳）
TEL47-2157
担当地区：晴山

川島　秋子（あきこ）
（上増子内、54歳）
TEL45-2632
担当地区：小軽米

平成28年度　町役場組織と職員配置（敬称略）

＜平成28年４月１日発令＞

太字は課長級職、◎はグループ長☆は新採用、㈹は併任、㊒は兼務、㊔は再任用、色付氏名は異動・昇格者

総務課

課長　日山　充
担当主幹　吉岡　靖
企画グループ
◎課長補佐　梅木勝彦
主事　小笠原信也
主事　山舘さくら
☆主事　川原愛実
運転手　工藤　剛
用務員　田中裕子
総務グループ
◎課長補佐　角田貴浩
㈹主査　輪達ひろか
主事　山下善昭
主事　大村亮憲
主事　笹山泰嵩
主任主査　苅谷太基
㊔主任主査　中村利見
総務課付
（山田町派遣）　外山和寿
（三戸地区広域行政事務組合派遣）　上村利広
㊔（社会福祉協議会派遣）　工藤光政
㊔（特別養護老人ホームいちい荘派遣）　高橋良春
㊔（野田村派遣）　齋藤　崇

選挙管理委員会事務局

㈹事務局長　日山　充
書記　輪達ひろか

税務会計課

会計管理者兼課長　山田　元
担当主幹　戸田沢光彦
課税グループ
◎主任主査　福島貴浩
主任主査　小笠原達夫
主任主査　日山一則
主査　寺地隆之
☆主事補　脇山春陽
収納グループ・会計グループ
◎課長補佐　橋本邦子
主事　川島幸徳
主事　小野寺悟
主事　野中翔平

町民生活課

課長　中野武美
担当主幹　福田浩司
総合窓口グループ
◎主任主査　古舘寿徳
主任　紫葉千賀子
☆主事補　木戸口美里
㊔主査　中野とき
町民生活グループ
◎主任主査　川原木祐子
主任主査　橋場光雄
主任主査　鶴飼靖紀
主事　山田のぞみ
主事補　福田丈幸
主事補　清藤文喜
●小軽米出張所
㊔主査　小笠原邦之

健康福祉課

課長　於本一則
担当主幹　坂下浩志
健康づくりグループ
◎課長補佐　大西　昇
上席主任栄養士　工藤晃子
保健師長　日向安子
上席主任看護師　藤田美枝子
主任社会福祉主事兼栄養士　山田里美
保健師　瀧澤さやか
保健師　小林真由美
㊔主任保健師　中里早苗
㊔主任保健師　櫻場栄子
福祉グループ
◎主査　関向孝行
主事　小野寺繭子
主事　加藤美紀
主事　日山菜穂実
上席主任看護師　内城良子
主任看護師　下谷地田美子
社会福祉士　田代沙織
保健師　八幡美紀

健康ふれあいセンター

所長　川原木純二
居宅サービス・居宅介護支援グループ
◎所長補佐　松浦近子
生活相談員　梅木久美子
介護福祉士　外川愛子
介護福祉士　杉浦謙二
●軽米保育園
園長　川島康夫
園長代理　中村由季
主任保育士　下斗米　敏
主任保育士　檀澤順子
保育士　安藤美由紀
保育士　金田奈々
保育士　滝沢暢子
保育士　古川　唯
保育士　日山侑香
☆保育士　田中里実
調理師　新井田直子
●小軽米保育園
園長　堀米豊樹
園長代理　川崎弥生
保育士　大清水恵
保育士　増尾祐子
保育士　藤田由貴子
☆保育士　松山あずさ
調理師　平船シズエ
●晴山保育園
園長　小笠原　亨
園長代理　小林留美子
保育士　坂本麻衣子
保育士　長井茉侑
☆保育士　金山晃司
㊔保育士　石川敦子
●笹渡保育園
園長　長坂佐知子

産業振興課

課長　高田和己
担当主幹　小林　浩
農政企画グループ
◎課長補佐　坂本　修
主任主査　戸草内和典
主任　紫葉優樹
主事　小林　誠
主事　関向幹也
農林振興グループ
◎主任主査　畑中幸夫
主任主査　小笠原隆人
主事補　明岡　寿
商工観光グループ
◎課長補佐　松山　篤
主任主査　外山　充
主事補　小野寺史葉
☆主事　兼田一史
㊔主任主査　江刺家　高

農業委員会事務局

㈹事務局長　高田和己
㈹局長補佐　坂本　修
㈹主任　紫葉優樹
㈹主事　小林　誠
㈹主事　関向幹也

地域整備課

課長　新井田一徳
環境整備グループ
◎主任主査　江刺家雅弘
主任主査　竹澤泰司
主任主査　輪達隆志
主任主査　神久保恵蔵
主事　玉舘博一
運転手　池田明広
上下水道グループ
◎主任主査　日脇邦昭
主任主査　長瀬設男
主任主査　中村勇雄
主任主査　吉岡芳幸
主事　玉舘　透
主事　川崎彩香
運転手　苅敷山佳樹
㊔主任主査　鎌戸和則
※水道事業所職員を併任

再生可能エネルギー推進室

室長　平　俊彦
エネルギー推進グループ
◎主任主査　野中孝博
㊔主任主査　野中　勲

教育委員会事務局

教育次長　佐々木　久
教育総務グループ
◎主任主査　工藤　薫
指導主事　八ツ役真司
主査　於本博之
主任　寺地亜紀子
主任　千葉久司
主事　山下博之
主事　横島咲菜
運転手　古舘義明
生涯学習グループ
◎次長補佐　大清水一敬
主査兼学芸員　藤田直行
主事　大川訓寿
主事　関向哲志
主事　菅原里枝
主事兼社会教育主事　古里結美
●町立図書館・軽米中央公民館
㈹館長　佐々木　久
主任主査　工藤祥子
●軽米幼稚園
園長　圃田清和
園長代理　野中恵美子
教諭　山仁江利子
教諭　吉田彩香
㊔教諭　内澤典子
●学校用務員
軽米中　藤嶋百合子

議会事務局

事務局長　佐藤暢芳
庶務・議事グループ
◎局長補佐　小林千鶴子
主査　鶴飼義信
※監査委員事務局を併任

【退職者】敬称略

（平成28年３月31日付）
内澤典子（軽米保育園長代理）
安藤京子（晴山保育園長代理）
石川敦子（笹渡保育園長）
古舘孝子（軽米幼稚園長代理）
藤原華香（町民生活課主事）

よろしくお願いします！

新採用職員を紹介

総務課　主事
川原　愛実（めぐみ）（米田・28歳）

いち早く軽米の皆さまのお役に立てるよう、努めて参ります。よろしくお願いします。

町民生活課　主事補
木戸口　美里（みさと）（小玉川・22歳）

１日でもはやく町民の皆さまの支えとなれる職員になります。よろしくお願いします。

税務会計課　主事補
脇山　春陽（はるあき）（桜山・22歳）

分からないことばかりですが、早く仕事を覚えて皆さんのお役に立てるよう頑張ります。

軽米保育園　保育士
田中　里実（さとみ）（萩田・21歳）

子どもたちに負けないくらい元気に頑張ります！よろしくお願いします。

産業振興課　主事
兼田　一史（かつし）（沢田・28歳）

調子乗りなので、そこを注意していきたいと思います。失敗を糧にして頑張ります。

小軽米保育園　保育士
松山　あずさ（上増子内・23歳）

笑顔で元気に頑張っていきたいと思います！よろしくお願いします！

晴山保育園　保育士
金山　晃司（こうじ）（山口・22歳）

子ども達が明るく・楽しく・元気いっぱいで過ごせるよう頑張ります！よろしくお願いいたします。

定員適正化計画（第６次）を策定

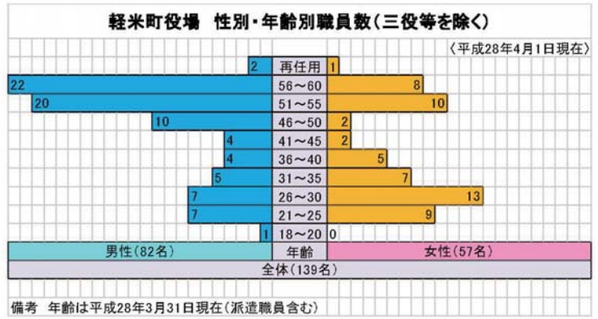
～効率的・経済的な執行体制をめざして～

町では、先月号でご紹介した「軽米町行政改革大綱」とともに「軽米町定員適正化計画」を策定し、執行体制の効率化を目指しています。これまでの状況と、第６次計画の概要をお知らせします。

これまでの取り組み状況

効率的な執行体制を築くため、これまで５次にわたる定員適正化計画の執行で、組織の見直しや事務事業の民間委託、新規採用の抑制と勧奨退職制度の促進など、職員数の削減に取り組んできました。

平成23年度から27年度までの第５次定員適正化計画では、職員数が22年度の１５６人から27年度末までに１３７人へと減少しましたが、年代別に見ると、20歳代が23・０％、30歳代が15・５％、40歳代が14・１％、50歳代が47・４％と平均年齢の高い、いびつな年齢構成となっています。詳しい年代別の構成は下の表をご覧ください。



第６次計画の概要

平成28年度から32年度までを計画期間とする定員適正化計画（第６次）では、これまでの定員削減や新たな行政施策が生じたことで事務事業に支障をきたすおそれが出てきたことから、概ね現状の職員数を確保する数値目標が設定されました。（下表参照）

退職者の補充は、再任用制度の活用や、受験資格の年齢層を幅広く設定するなど、職員の年代構成を平準化して、同一年代に職員が偏らないよう配慮することにしています。

また、多様化・高度化する行政ニーズに迅速かつ的確に対応するため、職員の資質向上や意識改革、サービス業としての行政事務の推進に向けて接遇マナーの向上などの計画的な研修を行うことも盛り込まれました。

民間委託や町民の皆さんとの協働参画により出来る事業など、自助、共助、公助など役割を明確化しつつ、事務事業の全体的な見直しなどを進め、地域の活性化を目指します。

いま求められている簡素で効率的な行政のためには、「最少の経費で最大の効果をあげる」という地方自治の原則などを踏まえて、長期的な定員管理に努めます。

年　度		27年度職員数（計画前年度）	定員適正化計画年度						32年度職員数（目標年度）
			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	累計	
退職見込者数（前年度中の退職者数含む）	行政職等		6	4	11	3	4	28	
採用予定者数	行政職等		7	7	6	7	4	31	
職員数	行政職等	135	136	139	134	138	138		138
	再任用職員の活用数	2 (10)	3 (10)	3 (11)	3 (12)	3 (10)	2 (10)		2 (10)
	計	137	139	142	137	141	140		

注）（　）書きは再任用職員数(短時間)で、計の外数

児童生徒の医療費助成の給付申請が簡単に！

児童と生徒の医療費助成の医療費給付申請が、県内の医療機関で、できるようになりました！

《これまでの申請方法》

月ごとにまとめた領収書と医療費給付申請書を町民生活課に提出していただいていました。

《４月１日からの申請方法》

●県内の医療機関（病院と薬局など）を受診する場合

受給者証を提示のうえ、「㊟医療費助成給付申請書」を月初めに医療機関の窓口へ提出してください。

●県外の医療機関を受診する場合

これまでどおり、月ごとにまとめた領収書と医療費給付申請書を町民生活課に提出していただきます。

※県内の医療機関へ申請書を出さなかった場合も、これまでどおり町民生活課で申請手続きができます。

対象者：小学生～高校生

（平成10年４月２日～平成22年４月１日生まれ）

県内の医療機関を受診する時は

㊟医療費助成給付申請書と受給者証を窓口へ

県外の医療機関を受診する時は

医療費給付申請書と領収書を町民生活課へ

町では、この他にも医療機関で保険診療を受けた場合に、窓口で支払った一部負担金を受給者に給付する医療費の助成を行っています。

町で行っている医療費助成の種類と対象者

乳幼児	・就学前の児童
妊産婦	・妊産婦（妊娠５ヶ月目から出産した月の翌月末まで）
ひとり親家庭	・18歳に達する日以後最初の３月31日までの間にある児童を扶養している配偶者のいない男性又は女性とその児童 ・父母のいない18歳に達する最初の３月31日までの間にある児童
重度心身障碍者	・身体障害者１級、２級 ・特別児童扶養手当１級 ・障がい者基礎年金１級、特別障害給付金１級 ・療育手帳Ａ級　のいずれかに該当する方
寡婦等	・寡婦のうち、69歳までの方 ・児童が18歳に達した以後に配偶者のない女子になった69歳までの方

◎申請手続きは、町民生活課窓口で受け付けています。該当する事業により申請に必要なものが異なりますので、窓口もしくはお電話（☎４６－４７３４）でお問い合わせください。

役場庁舎に太陽光発電設備・地中熱暖房システムを設置

～災害に強く、環境に優しいまちづくり～

平成27年10月から着工した役場庁舎の太陽光発電設備等設置工事と地中熱暖房システム建設工事が3月に完了しました。太陽光発電により災害時（停電時）の電力の安定供給を可能にし、地中熱を利用するシステムによって、緊急時の避難所にも指定している農村環境改善センターの冷暖房設備が改善されました。

太陽光発電

平常時には、職員駐車場に設置した192枚のソーラーパネル（写真①）での太陽光発電が優先して電力供給を行い、余剰電力は蓄電池（写真②）に充電されます。

また、停電時には特定負荷（一部のコンセント）や照明へ、太陽光発電と蓄電池から最大でパソコン666台分の電力が供給されます。

①

②

地中熱暖房システム

地中約90メートルの地中熱交換井戸と地中約80メートルの揚水井戸から地中熱を採熱し、夜間電力で蓄熱槽（写真③）の水を加熱・冷却して、庁舎と農村環境改善センターを循環させます。また、循環中に設定温度を下回ると、ヒートポンプ（写真④）が稼働して再加熱します。地中熱を利用することで、光熱費が年間約200万円の削減を想定しています。

総工事費はおよそ5億5，180万円。その内およそ3億7，730万円に補助金を活用して建設されました。

③

④

県体育協会功労賞 日山篤さんが受賞

町体育協会顧問の日山篤さん（68歳・桜山）が長年の体育協会の運営、町のスポーツ事業の発展への功績が認められ、県体育協会の功労賞を受けました。

日山さんは、町の剣道協会に所属し、平成3年から会長として当町の剣道競技をけん引してきました。昭和48年から62年まで町体育協会の事務局長、平成16年から20年4月まで同副会長、そして20年から26年まで会長を務められ、その間に、二戸地区体育協会副会長や県体育協会の評議員などを歴任。町内外におけるスポーツの振興が今回の功労賞へとつながりました。

受賞を喜ぶ日山さん

教育委員に田端守（まもる）さんが就任

3月4日から16日まで開催された軽米町議会定例会で、教育委員会委員の任命を求める同意案が可決され、新たに田端守さん（下晴山・44歳）が就任しました。

田端さんは、現在3人の子どもが在学中で、旧晴高小学校ではスポーツ少年団の指導者を、晴山小学校ではPTA会長などを歴任し、学校教育、スポーツの分野を中心に活躍されてきました。

田端委員の任期は平成31年9月30日までです。

田端　守
教育委員

固定資産評価審査委員に坂上さん再任

軽米町議会3月定例会で、任期満了に伴う固定資産評価審査委員の選任に関し、坂上清（きよし）さんが再任されました。

坂上さんは、平成22年3月に固定資産評価審査委員に就任し今回で3期目となります。今回の任期は平成31年3月12日までです。

坂上　清（きよし）さん
（65歳、山口）

固定資産評価審査委員会とは

固定資産評価審査委員会とは、固定資産台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するため市町村に置かれる中立的な第三者機関です。

-平成27年度岩手県消防表彰式-

消防活動に貢献した功労者20人が受章

岩手県消防定例表彰式が3月17日に盛岡市の市民文化ホールで開催され、町の消防団員や婦人消防協力隊員など、長年にわたり消防活動に貢献した功労者20人に表彰状と記念品が贈られました。

表彰式後、受章者らは役場を訪れ、山本町長に受章の喜びを報告しました。

各章と受章者は左のとおりです。（敬称略）

受章の報告に山本町長のもとを訪れた消防団員ら

★消防庁長官表彰
【永年勤続功労章】太田正（ただし）（本部付分団長）

★岩手県知事表彰
【功績章】澤田晶（あきら）（部長）
平林和代司（かずよし）（部長）
高森康浩（やすひろ）（部長）
細谷地司（つかさ）（部長）
小林光浩（みつひろ）（部長）

★日本消防協会長表彰
【功績章】大谷地房男（ふさお）（副団長）
【精績章】坂本昌彦（まさひこ）（本部付分団長）
下谷地敦雄（あつお）（分団長）
【勤続章】高橋薫（かおる）（分団長）
日山政俊（まさとし）（副分団長）
畑林悦男（えつお）（部長）
高森康浩（部長）
細谷地司（部長）
本田英博（ひでひろ）（班長）
苅敷山輝美（てるみ）（団員）
福田幸男（さちお）（団員）

★岩手県消防協会長表彰
【功労章】小笠原充夫（みつお）（本部付分団長）
【功績章】高森康浩（部長）
日山政俊（副分団長）
細谷地司（部長）
【内助功労】鶴飼奈千代（なちよ）（分団長令夫人）
清水京子（きょうこ）（分団長令夫人）
【優良協力隊員】
小野寺ノリ子（のりこ）（小玉川地区隊員）
湯川友子（ともこ）（笹渡地区隊員）

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

読書好きの子どもたちに表彰状

町読書のつどい

町読書のつどい（町教育委員会・町立図書館主催）が２月27日、中央公民館で開催されました。６人の児童に子ども司書講座の認定証が授与されたほか、読書感想文・感想画コンクール表彰式が行われました。また、朗読劇ユニットやまねこけんによる宮沢賢治の作品『セロ弾きのゴーシュ』の朗読劇では、チェロの生演奏も加わり、子どもから大人まで観賞した人たちを物語の世界に引き込んでいました。

子ども司書の認定者とコンクールの表彰者は以下のとおりです。（学校・学年は受賞当時、敬称略）

■子ども司書

小林千星良（軽米小３年）、木村心美（同３年）、松本爽聖（同３年）、紫葉瑞樹（同３年）、圃田咲弥（小軽米小６年）、松本結愛（同６年）

■読書感想画部門

〈小学校１・２年の部〉最優秀賞：小林聖和（小軽米小２年）優秀賞：中嶋健心（軽米小１年）

チェロの演奏が朗読劇を盛り上げました

■読書感想文部門

〈小学校３・４年の部〉最優秀賞：竹澤結香（軽米小３年）優秀賞：田代侑司（晴山小４年）〈小学校５・６年の部〉最優秀賞：屋敷大（小軽米小６年）優秀賞：田代晃一（晴山小５年）

■書評部門

〈中学校の部〉最優秀賞：横澤朱音（軽米中３年）優秀賞：小笠原美紀（同３年）

あなたの「こころ」は健康ですか？

こころの健康づくり講演会、上手な「ストレス」対処法

こころの健康づくり講演会が３月14日、軽米中央公民館を会場に開催されました。県立一戸病院に医師として勤務する田鎖愛理さんが認知症に関する講話を行いました。田鎖さんは「家族の認知症への気づきが大切。完治する薬はなくても進行を遅らせる薬はある。まずは受診してほしい」と話しました。その後参加者たちは、NPOスポーツウェルネスの伊藤礼子さんから「こころとからだのリフレッシュ体操」を学び、元気に体を動かしました。

こころと体のリフレッシュ体操に取り組む参加者たち

ストレスとの向き合い方を語る久保田さん

３月22日には、メンタルヘルス総合研究所代表の久保田浩也さんを講師に迎えて、上手なストレス対処法の講話と、こころの体操と呼ばれる自律訓練法の実技を行いました。久保田さんは「毎日こころの体操を行って、こころの健康を自分で保ちましょう」とメンタルヘルスの重要性を語りました。

工事の無事を祈願

軽米・西山太陽光発電所起工式

Sky Solar Japan株式会社（陳鋭社長）が小軽米地区に建設を進める大規模太陽光発電施設（メガソーラー）の起工式が３月30日に行われました。同施設は事業面積4.1ヘクタール、約6,700枚のソーラーパネルを使い、最大出力が２メガワット、一般家庭およそ600世帯分をまかなう発電規模で計画されています。５月の連休明けから本格着工に移り、８月中旬からの稼働を予定しています。

安全な工事を祈り鍬を入れる山本賢一町長（左）

軽米町の特産品が並んだ物産コーナー。来場者に自慢の品をPRしました

軽米の観光と物産のＰＲ

軽米町観光と物産キャンペーン

観光と物産キャンペーン（町観光協会主催）が３月５日と６日、八戸市で開催されました。物産展には『かるまいブランド認証品』をはじめ町の特産品が並びました。神楽の演舞、長いロールケーキ作りやチューリップ苗のプレゼントには多くの来場者が集まり、町の物産と４月下旬から見頃を迎える軽米町のチューリップを大いにＰＲしました。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

駒場小学校の３年生１４人が、生涯学習センターの郷土資料室を見学しました。今年度から初めて高齢者大学（すずらんカレッジ）の郷土研究部の皆さんが講師役を務め、昔の道具を見て「これは何？」と質問する子どもたちに、名前や使い方を熱心に教えていました。

郷土の歴史を直に学ぶ

次々と登場するかわいい動物に夢中

読書で育てる感受性

ブックスタート

３月９日、健康ふれあいセンターでブックスタートが行われました。町の乳児健診に合わせて、７ヶ月の子どもに絵本をプレゼントする同事業。軽米町図書館支援協力会職員の上村由美さん（小玉川）は「小さい頃から読書の習慣をつけることと、職員が直接手渡すことで図書館を身近に感じてもらうことがねらい。足を運んでもらいやすくなれば」と話します。

笑顔あつまれ！　みんなの広場

キラキラ光る

小野寺　俊祐（しゅんすけ）さん
（26歳、下晴山）
身長175（セン）チ、O型
小野寺木材

とにかくスノーボードに夢中

高校を卒業後、北上市で製造業の会社に勤めた小野寺さん。現在は、実家でお父さんと一緒に製材業を行っています。

Q、自分の性格を一言で言うと？

結構テキトーなところがあるかな、と。

Q、今の職業をやってみて？

自分の性に合っていると思います。

Q、趣味や休日にやることは？

趣味はスノーボードです。八甲田でのパウダーランはとても気持ちがいいですよ。ドライブに出かけるのも好きだし、カードゲームやギターなんかのインドア系も好きです。

Q、あなたの夢（目標）は？

バックカントリーに挑戦したい。パウダーランやカービングターンをもっと上手くなって、いつかはキロロやニセコ、ヨーロッパやカナダにも行って滑ってみたいです。

Q、町をどう思いますか？

住みやすくていい町だと思う。高速道路もあり、八甲田や夏油まで2時間前後でいけるところがいい。

▼好きなスポーツ…スノーボード
▼好きな食べ物…ゲレ食のカレー
▼理想の異性のタイプ…元気で、一緒にいて安心する人。芸能人はあまり詳しくないです。

今月の俳句（北光吟社2月例句会）

野菜雛（やさいびな）つるしびなあり道の駅　中野　とき子
バレンタインチョコより酒を所望（しょもう）され　君成田　美代子
話ゐて心は別（べつ）にミカンむく　千葉　紅園
春浅（はるあさ）しホームの母を見舞けり　高橋　美智子
薄氷（うすらゐ）の細き流れに鷺（さぎ）一羽　中田　紀子
東風（こち）強し訛（なまり）で母娘（おやこ）声高く　早川　慶子
豆まくや遠く住む娘（こ）を思いをり　川島　由蔵
風邪（かぜ）の時期（じき）入院見舞控（ひか）えよと　三上　千栄女
夕暮の窓辺（まどべ）明るく日脚（ひあしの）伸ぶ　丹下　美恵子
節分（せつぶん）や泣く子笑う子固（かた）まる子　川﨑　郁子
白鳥の頸（くび）うす鼠雪間（ねずみゆきま）かな　千葉　ふみ子
錠剤（じょうざい）の増（ふ）えるひといろ春寒し　松村　英子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

■夢・希望・えんぴつ■

軽米小学校　5年
内澤　明未（あみ）さん
（新光団地）

4年生でがんばったことと、5年生の目標

わたしが4年生でがんばったことは、たくさんあります。その中でも特にがんばったことは、字をていねいに書くこと、金管とバレーボールの活動です。

字は、漢字ノートや一人勉強ノートの宿題でていねいに書くようにしました。また、国語や算数の授業でノートをきれいにまとめました。その結果、ノートコンクールにも選ばれてうれしかったです。金管では、主にトランペットを担当し、コンクール曲の「スペースアドベンチャー」を練習しました。本番ではきんちょうして、満足のいくえんそうではなかったけれど、みんなで息を合わせてえんそうしました。バレーボールでは、セッターをやりました。6年生のアタッカーにていねいなトスをあげて、気持ちよくスパイクを打ってもらえたことが心に残っています。

わたしのこれからの目標は、最後まであきらめない気持ちを強くもつことです。例えば、児童会執行部では、明るく元気な学校にするためにみんなの手本になるようなあいさつを続けたいです。バレーボールではみんなとチームワークがとれるようにして、いい成績を残せるようにがんばりたいです。

いわて国体 わんこ情報局

いわて国体に関する情報をお伝えします

全国の選手たちをおもてなしする　ボランティアスタッフを募集

町民総参加でつくる国体を目指し、軽米町で開催される軟式野球競技のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。

◆ 応募要件

軽米町に在住または通勤・通学している方で、中学生以上の方。または、軽米町内に活動拠点を有する団体。
（※高校生以下は保護者の同意が必要）

◆申込方法

応募用紙に必要事項を記入の上、持参、郵送、FAXでお申込みください。（応募締切：**4月28日（木）まで**）
応募用紙は、役場教育委員会、町立図書館・体育施設等で配布しているほか、町HPからもダウンロードできます。

◆ 申し込み先

希望郷いわて国体軽米町実行委員会事務局
（教育委員会事務局内46－4744）

ボランティアの内容

○案内受付
○会場整理
○環境美化
○会場設営
○写真撮影

どなたでもできる簡単な作業です！

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～春の交通安全運動の実施～

春の全国交通安全運動が、平成28年４月６日から15日までの10日間実施されます。

≪運動の重点≫

〇子どもと高齢者を交通事故から守りましょう
〇自転車の交通安全利用の推進
〇全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
〇飲酒運転の根絶

●子どもと高齢者を交通事故から守りましょう

子どもや高齢者を見かけたら、スピードを落とし、いつでも止まれるよう、思いやり運転に心がけましょう。特に、子どもの急な飛び出しに注意を。

●自転車も車の仲間です。慎重な運転を。子どもはヘルメットを着用。

自転車も交通ルールを守り事故防止に努めましょう。

●シートベルトはあなたを守る「命綱」です

シートベルトは事故の衝撃を軽減し、衝突した際、車外放出を防ぎます。ドライバーの方は、全ての同乗者がシートベルトを着用しているか確認してから出発しましょう。

乳幼児には、体格に合ったチャイルドシートを正しく着用させましょう。

２月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	０件	０件	－３
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	０人	４人	－３
物損事故	13件	40件	－１
救急車出動回数	39回	75回	－３

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶２月の飲酒運転検挙者はありません

図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

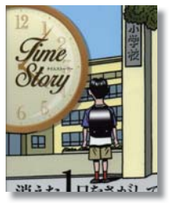
ー今月の新刊ー

図書館利用案内

日時：4月16日(土) 10:00 ～ 11:00　対象：幼児
場所：図書館となりの蔵　小学校低学年

【児童書】

消えた１日をさがして



（偕成社）

編/日本児童文学者協会
絵/浅賀行雄

日当10万円のあやしいアルバイト。その内容は、企業秘密で目的が明かされない実験に参加することだった。「１日」をめぐる５つの物語を収録。

よくわかる選挙と政治

しくみとルールを知っておこう

（ＰＨＰ研究所）

監修 / 福岡政行

政治への関心を持ち、選挙に行って大切な１票を投じよう。選挙の基本や日本の選挙のルール、１票の格差の問題、いよいよ実現する「18歳選挙」についてなどを解説します。

【一般書】

問題解決がよ～くわかる本

（秀和システム）

著/駒井伸俊

良いアイデアが出ない、情報をうまく整理できない、営業で結果が出せない。山積みの問題を解決するための便利なツールや考え方を、具体例を挙げてわかりやすく図解します。

また、同じ夢を見ていた

（双葉社）

著/住野よる

友達がいない“私”が出会ったのは手首に傷がある女子高生、とても格好いいアバズレさんや一人静かに余生を送るおばあちゃん…。「やり直したい」ことがある、全ての人に贈る物語。

目指そう！はつらつ人生

健康福祉課福祉グループ（☎４６－４１１１）

軽米町民講演会開催

～優しさを伝えるユマニチュード®～

認知症のケア技法として、日本で話題となっている「ユマニチュード®」の今年度第２回目の講演会を３月２日、瀧村屋を会場に開催しました。

第１回目は、昨年の11月23日に町民フォーラムとして軽米小学校を会場に開催。ジネスト・マレスコッティ研究所日本支部代表で独立行政法人国立病院機構東京医療センター総合内科医長の本田美和子さんを講師に迎え、大きな反響を呼びました。当時の参加者からの「より詳しく、もう一度聞きたい」といった声に応える形で、２回目の開催が決定しました。

今回の講師は、「ユマニチュード®」の開発者であるイヴ・ジネストさん本人。ジネスト・マレスコッティ研究所の代表をフランスから講師として迎え、「ユマニチュード®」とは何か、その技法と哲学をお話しいただきました。

県立軽米病院の横島孝雄院長を座長に、軽米町民と県内外から185名を集めた講演会は盛会のうちに終わり、参加した住民と専門職は共に、今後の認知症への対応として、ケア技術への理解を深めました。

文夫に育つ　元気に働く　健やかに過ごす

健康福祉課健康づくりグループ（☎４６－４１１１）

野菜のかしこい食べ方

健康福祉課
栄養士
山田　里美

健康のために必要不可欠なのは「野菜」です。野菜にはビタミンやミネラル、食物繊維など、健康を保つために大切な栄養素が豊富に含まれていて、生活習慣病や肥満の予防にも役立ちます。野菜は、１日３５０ｇ、小皿で５皿以上食べることが理想です。毎日食べていると思っても、実はすべての年代で「野菜不足」の傾向にあると言われています。生野菜は器に盛り付けると、見た目は多く見えて満腹感を感じやすいのですが、思った以上に量が少ないのです。そこで、かしこい食べ方として「加熱でかさを少なくして量をとる」、「加熱をしてから細かくきざむ」きざむことで野菜の細胞壁が破壊され、栄養素が吸収されやすくなるということです。野菜をたくさんとることは、減塩にもつながります。野菜を食べて、生活習慣病を予防しましょう。

（広告スペース）

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

町のこよみ・かるまいカレンダー

4月　April

16	土	
17	日	休日と夜間の納税相談【税務会計課】（～19日）
18	月	
19	火	
20	水	３歳児健診【ふ】13：00～13：30受付
21	木	うまっこ教室【ふ】9：30～12：00
22	金	
23	土	図書館ひろば【図】10：00～
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	

5月　May

1	日	
2	月	町税の納期限（固定資産税第１期、軽自動車税）
3	火	【憲法記念日】 森と水とチューリップフェスティバル　オープニングセレモニー【イベント日】
4	水	【みどりの日】
5	木	【こどもの日】 森と水とチューリップフェスティバル【イベント日】
6	金	婦人検診【笹渡農業構造改善センター】9：00～10：00受付、【小玉川生活改善センター】13：00～14：00受付
7	土	
8	日	婦人検診・骨粗しょう症検診【環】9：00～11：00受付 芝桜チューリップウオーク【ハ・他】10：00～12：00 「森と水とチューリップ」パークゴルフ大会【ハ】9：00～
9	月	婦人検診【晴山公民館】9：00～10：00受付、【高家生活改善センター】13：00～14：00受付
10	火	
11	水	乳児健診【ふ】13：00～13：30受付
12	木	婦人検診・骨粗しょう症検診【環】13：00～15：30受付、17：00～18：30受付
13	金	婦人検診【米田農業構造改善センター】9：00～10：00受付、【小軽米生活改善センター】13：00～14：00受付
14	土	
15	日	婦人検診・骨粗しょう症検診【環】13：00～15：30受付、17：00～18：30受付 芝桜スポーツフェスティバル（～6月12日）

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

食から健康セミナー
（３/27、農村環境改善センター）

町産食材の質の高さを再認識

雑穀の試食も行われ、それぞれの味や食感の違いを比べました

雑穀を使用したハンバーグとデザートの実演

新たな魅力を学びました

お知らせ情報 Information

もっと知ろう

みんなの国民年金

学生納付特例制度

20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入し保険料を納めることになります。

しかし、学生の方は所得が少ない等の理由で国民年金保険料を納めることが経済的に困難な場合があるため、納付が猶予される『学生納付特例制度』があります。

対象となる方は、大学等（修学年限１年以上である課程）に在学する20歳以上の方で、ご本人の前年所得が一定額以下であることが条件です。

〈所得のめやす〉118万円＋{扶養親族等の数×38万円}

学生納付特例の承認期間は４月から翌年３月までとなります。お手続きの際には、年金手帳、在学証明書または学生証（写しでも可）、認印をご持参ください。

※詳しくは、二戸年金事務所（☎２３－４１１１）または町民生活課（☎４６－４７３４）にお問い合わせください。

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

金田一診療所（☎27-2205）	二戸市金田一	４月17日（日）	こしみず歯科クリニック（☎33-4618）	一戸町一戸
むらかみ医院いたみのクリニック（☎48-1500）	軽米町岩崎	24日（日）	渡辺歯科医院（☎23-2052）	二戸市堀野
よこもり眼科クリニック（☎22-2230）	二戸市堀野	29日（金）	ムカイダ歯科クリニック（☎46-4636）	軽米町蓮台野
千葉耳鼻咽喉科医院（☎23-2009）	二戸市福岡	５月１日（日）	森川歯科医院（☎23-6361）	二戸市堀野
小野寺クリニック（☎46-2822）	軽米町門前	３日（火）	小野寺歯科医院（☎33-3050）	一戸町高善寺
おりそ内科循環器クリニック（☎22-2251）	二戸市	４日（水）	窪島歯科医院（☎23-2425）	二戸市福岡
浄法寺診療所（☎38-2021）	二戸市浄法寺	５日（木）	関歯科医院（☎38-2937）	二戸市浄法寺
松井内科医院（☎33-2201）	一戸町一戸	８日（日）	ほんだ歯科クリニック（☎23-9591）	二戸市石切所

引越の際は忘れずに住民票を移しましょう

選挙で投票する場所は、原則として住民票のある市区町村です。忘れずに住民票を移しましょう。また、公職選挙法の改正によって、旧住所地に３ヶ月以上住んでいた場合、夏の参議院選挙には旧住所地で投票ができます。

【問い合わせ先】

選挙に関すること…町選挙管理委員会事務局（☎４６－２１１１）、住民票の異動に関すること…役場町民生活課（４６－４７３５）

ＮＨＫ放送番組「にっぽん横断こころ旅」お手紙募集

俳優火野正平さんが視聴者からのお手紙をもとに自転車で全国を巡るＮＨＫの番組「にっぽん横断こころ旅」。この番組へのお手紙を下記のとおり募集します。

■募集内容

忘れられない風景や景色とそれにまつわるエピソード

■募集締切　５月９日（月）

お手紙の送り先など詳しくは、番組ホームページまたは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】ＮＨＫ編成局「にっぽん横断こころ旅」事務局（☎０３－５４５５－７７４２）

各種証明書の時間外交付について

毎週水曜日は、町民生活課と税務会計課で各種証明書の時間外交付が可能です。交付には予約が必要ですので、担当窓口へ事前にご連絡ください。

■時間外交付日時

毎週水曜日17：15～19：30

■予約受付日時

平日8：30～17：15

【問い合わせ先】町民生活課（☎４６－４７３５）、税務会計課（☎４６－４７３７）

平成28年度に満30歳に達する軽米小学校卒業生のご連絡をお待ちしています

当時の日本道路公団では、平成８年７月27日に八戸自動車道の開通10周年を記念し、折爪サービスエリアに、沿線10小学校、481人分の作文をタイムカプセルに入れて埋設し、20年後の平成28年に開封することとしました。

このカプセルには当時の軽米小学校４年生56人分の作文も入っています。

当社では、夏ごろに発掘を計画しています。該当する方はぜひ、当社へご連絡ください。

【問い合わせ先】ネクスコ東日本八戸管理事務所総務タイムカプセル窓口（☎０１７８－２７－２１００）

広報かるまいへの広告掲載者を募集

広報かるまいでは、町内業者などからの広告を募集しています。

広告掲載料：４，０００円/月
（６カ月以上掲載の場合は３，０００円/月）

詳しくは、下記までお問い合わせください。
（問）役場総務課企画グループ（☎４６－２１１１）

仕出し御膳　味彩（あじさい）

お膳・折詰・弁当・オードブル
お祝いごとやご法事等に
お気軽にお電話ください

☎４６－３６８０　手造りの店　味彩（あじさい）

（広告スペース）

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

広報
かるまい4
平成28年
4月号
(No.685)

冠婚葬祭 ＜敬称略＞

2 月 分

おめでた

（ ）内は父母の名

萩田 國久 もえぎ（要・智鶴）
君成田 上澤 樹（一誠・由利香
沢田 兼田 杏莉（翔太・亜希子）

おくやみ

（ ）内は享年

門前 蒲生 リエ（92歳）
内城 大西 宜悦（82歳）
上新町 工藤 駒吉（87歳）
新光団地 荒田 政男（90歳）
新大鳥 坂脇 チヨ（102歳）
鶴飼 附柳 春男（58歳）
高家 十文字 タミ（99歳）
蛇口 西舘 光男（60歳）
蓮台野 菅原 ケイ子（80歳）
下晴山 小笠原 イス（98歳）
上舘 工藤 靜子（98歳）
下河南 中村 ヨシエ（98歳）
大町 若山 ユキ（92歳）

●人の動き ＜平成28年2月29日現在／町民生活課調べ＞

男 4,754人（－3）／女 4,985人（－15）

合計 9,739人（－18）／世帯数 3,774（－5）

※（ ）は前月比

転入 7人（18人）／転出 10人（19人）

出生 3人（9人）／死亡 18人（34人）

※（ ）は1月からの累計

※広報誌内において、お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

表紙のことば

農水省医食福農連携補助事業「岩手の食材で毎日キュイジーヌマンスール」のメンバーで医師・シニア野菜ソムリエの宮田恵さんとフランス料理シェフ伊藤勝康さんによる食から健康セミナーが3月27日開催され、町産食材の栄養価の解説や雑穀を使用した料理の実演などが行われました。

町民体育館にトレーニング機器を設置

「運動不足を解消したい方」や「体力づくりをしたい方」など、自分に合ったトレーニングが可能です。利用時間や料金などのお問い合わせは、町民体育館（☎46－3838）まで。

■整備した機器：

ランニングマシン2台　スピンバイク3台

※小学生以下は使用不可、中学生は大人の方の付き添いが必要です。

ほっとひといき／編集後記

今月号の10・11ページに職員の配置を掲載しました。私は異動がなく、広報担当3年生に進級です。今年度もよろしくお願いします。

そして、総務課には広報の前々任者が戻ってきて、新旧広報担当者が3人になりました。諸先輩方のご指導を受け、校正をお願いすると赤ペンで真っ赤になってかえってきた今月号も無事に発行できました。

これからも職場の先輩からの指導、そして町民の皆さんの声をいただきながら、より伝わりやすい広報づくりをめざします。（小笠原）

発行／岩手県軽米町　編集／総務課
〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
電話 0195-46-2111(代)
FAX 0195-46-2335
ホームページ http://www.townkarumai.iwate.jp/